

Ikoma Journal of Economics

Vol. 7 No. 1

In Commemoration of
Professor Kyoze Takechi

The Society of Economics
Kinki University
Higashi-Osaka, Japan

July, 2009

生駒經濟論叢

第7卷第1号

武知京三教授退任記念号



近畿大学経済学会

2009年7月



武知京三教授御近影

献 辞

武知京三先生は2007年3月に、本学の規程によって定年退職され、同年4月より特任教授として経済学部において研究と教育に当たられてきましたが、此の度、2009年3月をもって2年間務められた特任教授を退任されました。2007年4月に近畿大学に対する長年の、かつ多大な貢献によって近畿大学理事に任命されていましてゆえ、特任教授退任後も引き続き近畿大学全体の発展のために、重要な役割を果たされることとなります。また、本年4月1日付で、本学の名誉教授規定によって「近畿大学名誉教授」の称号を授与されました。これも以下に述べます、研究、教育、学内行政面での多大な貢献を評価された結果のものであります。

武知先生は近畿大学在職中、商経学部商学科長、そして商経学部教授を兼任される形で短期大学部長を歴任された後、商経学部の分離、改組に伴って経済学部の初代学部長として、今日ある経済学部の基礎づくりをされてきました。しかも、経済学部長在任中の4年間、旧商経学部の2年、3年、4年生が卒業するまで存続する商経学部の学部長をも兼務され、その幕引きの大役も果されています。

平成15年4月に経済学部がスタートして以降、経済学部長として種々な施策を実施されています。今日、経済学部教育の特徴とする多くの施策はこの時期に実行されたものであります。その代表的なものを経済学部の広報誌『生駒だより』（第5号）（2007年刊）に記されている本人の「回顧」に従って挙げてみますと次のようになります。

- 1) 「英語を話せる経済学士」の育成を謳い文句に、実践的な英語教育を行うという経済学部教育の特徴の発端を作られ、それを効果的なものとするべく、英語担当の専任教員を8名採用されました。
- 2) 3大メガバンクの寄附講座や野村証券の寄附講座を開き、実学教育という近畿大学の基本精神を経済学部教育の中に具体化されました。

3) 当初経済学部は、経済学科と総合経済政策学科の2学科体制で出発しました。経済学科の中に経済学コースと国際経済学コースの2コースが設けられ、学生も各コースに区分して募集しておりました。これを平成17年4月より、経済学科と国際経済学科に分離され、総合経済政策学科とともに3学科体制へと拡充されました。この国際経済学科が発足する時点で、魅力ある学科にするべく、1年生を対象とした「海外体験プログラム」の計画と実施をされています。このプログラムは今日も、多数の学生の参加があり、1つのセールスポイントとなっております。

4) 経済学部発足1周年記念に、総合経済政策学科を広くアピールするべく、塩川正十郎財務大臣(当時)の公開講演会を開催し、多数の市民の参加を得ました。また、国際経済学科の開設時も「我が国と東アジアの新次元の経済繁栄に向けて」をテーマにしたシンポジウムを開催されています。これらの催しは、両学科の対外的広報活動の一環として、そのイメージアップに貢献したものと思われまます。

このように、数々の工夫によって、魅力ある経済学部づくりの努力をされて来ました。

5) 2005年～2006年の間で、大学基準協会に提出する「経済学部自己点検・評価報告書」を作成し、同協会の審査を受けるに際して陣頭指揮をとられました。

このように、経済学部発足時の制度的インフラづくりや苦勞の多い行政に肅肅とその責務を果たされ、経済学部の「礎」を築き上げて来られました。

研究者としての学問に対する貢献も多大であります。

日本経済史、日本経営史、日本商業史の分野で10点の著書(単著)、110点の論文(単著)をはじめ、共著も多数あり、膨大な研究成果の発表によってこの分野の発展に並々ならぬ貢献をされています。

先生の共通する研究手法は、本庄栄治郎教授や恩師黒羽兵治郎教授の系譜上にあり、いわゆる「実証史学」の伝統を受け継ぐものであります。

勞をいとわず、自分の足で1次資料の収集を行い、その整理と分析をする

という地味な研究手法であります。この1次資料を基に分析する手法は、資料的価値においても他に追随を許さぬものであります。

先生は特に鉄道史の分野で著名で、平成10年11月から2年間鉄道史学会の会長をも務められ、以降も評議員や顧問として同学会の発展に貢献されています。

教育面では高経学部で「日本経済史」や「日本商業史」を、経済学部では「日本経済史」を担当され、多くの演習生を卒業させておられます。また大学院経済学研究科では「日本経済史特論」「日本経済史特殊研究」を、商学研究科では「日本商業史特論」や「日本商業史特殊研究」を担当され、実社会や教育界へ多くの人材を送り出されています。

先生の人柄は温厚誠実にして、誰からも愛され信頼され、まさに本学の教育目標そのものの見本となるべき人柄であります。

近畿大学経済学部の『近畿大学生駒経済論叢』第7巻第1号は武知京三先生の退任を記念して、先生の数々の業績を称えるべく発行されるものでありますが、近畿大学経済学部の学部内、学部外そして学外から多数の寄稿があったのもこの人柄を反映するものと考えます。

本『生駒経済論叢』第7巻第1号を先生に献じるとともに、今後とも益々ご健勝にして、近畿大学発展のために活躍されんことを念じます。

平成21年6月吉日

近畿大学経済学部長 今西芳治

目 次

献 辞	今 西 芳 治
I. 歴史・民俗	
アメリカ経済と観光産業	浅 羽 良 昌 1
明治中期・私設関西鉄道桜ノ宮線建設と桜ノ宮駅々勢の展開 ——私設大阪鉄道との関連を中心に——	宇 田 正 15
1880年代初期における東北鉄道の株式募集 ——飛騨地方の名望家の鉄道認識——	老 川 慶 喜 41
「昭和の合併」の受容過程 ——滋賀県彦根市の事例——	岡 田 知 弘 57
生駒山麓の遊園・観光開発計画の蹉跌 ——日下温泉土地を中心として——	小 川 功 77
地域開発と交通基盤の整備 ——高度成長期の島根県——	川 島 孝 95
バドワイザー商標紛争の経緯と現在	木 元 富 夫 117
戦前期雑誌にみる道路交通安全問題に関する編集動向 ——雑誌「モーター」を事例として——	齊 藤 俊 彦 139
山陽鉄道における牛場卓蔵の役割	西 藤 二 郎 163
天春文衛・東尾平太郎・脇栄太郎『減租参考一斑』 ——明治24年地価修正運動史料——	酒 井 一 189
新自由主義の帰結としての世界金融危機	櫻 谷 勝 美 211
明治後期における農商務省の貿易拡張政策と領事報告	高 嶋 雅 明 231
戦前のターミナル・デパート ——大鉄百貨店の創立——	谷 内 正 往 249
真田山陸軍墓地についての2, 3の問題	堀 田 暁 生 279
横浜開港初期における内陸との通信と運輸 ——甲州屋を事例にして——	増 田 廣 實 295

小運送二法の制定と鉄道小運送業 ——昭和10年代の九州について——	三浦 忍	313
封建地代から地租へ	美馬 佑造	335
名松線権現前駐車場の設置と地域の状況	吉村 利男	355
前近代的交通体系下の鱈輸送 ——北陸から信濃へ——	胡桃沢 勘司	371
黎明期のコンビニエンス・ストア	井田 泰人	383
16・17世紀のイギリスにおける工業文明の誕生と美術 ——J. U. ネフの工業文明論の一側面——	中村 進	403
II. 理論・政策		
A Theory of Logistic Curve ——To Explain the Transition of Japanese Economy after World War II——	Hirokuni Terada	433
地域公共輸送における“市場の失敗”現象への対応	斎藤 峻彦	449
近畿圏鉄道市場における競争の特質	高橋 愛典	465
循環過程と Hopf 分岐	内上 誠	491
中小企業の借入金利の特徴 ——企業側データを用いた実証分析——	安孫子 勇一	509
多国籍企業の移転価格と寡占，独立企業間価格	今西 芳治	527
外国籍住民に対する防災・災害情報の提供に関する一考察 ——外国籍住民を交えた「自助」「共助」「公助」の枠組みを探る——	片岡 博美	547
公立病院に対する負担金の地域間格差について	熊谷 成将	569
トラバース理論の意義	谷口 和久	583
Impulse Response of the Exchange Rate Volatility to a Foreign Exchange Intervention Shock	Takeshi Hoshikawa	599
ソフトウェアのアップグレードと利用者の選択行動に関する一考察	村上 礼子	619

Ⅲ. 経営・会計・情報

行政改革とコンフリクト・マネジメント

——財政赤字下の地方自治体と行政経営——…………… 数 家 鉄 治 635

会計学説史研究序論

——シェアーとシェフラーの場合——…………… 林 良 治 657

ニックリッシュの価値・資産・資本概念についての一考察…… 牧 浦 健 二 679

日本ネットワークワーカーズ会議と日本における NPO 概念の形成… 吉 田 忠 彦 699

学生満足度最大化を目指す基礎ゼミのクラス編成…………… 大 村 雄 史 713

テンプレートマッチングを用いた教育支援システムの提案…… 田 中 敬 一 733

Ⅳ. 社会・文化

地方におけるスローライフ運動のねらいと意義

——三重スローライフ協会の取り組みを中心に——…………… 大 原 興太郎 751

「秘書」再考

——歴史的、ジェンダー的視点から——…………… 大 窪 久 代 793

喫茶の起源と茶の流通に関する一考察…………… 田 中 美 佐 813

言語と経済性のメタ原理に関する一考察…………… 石 井 隆 之 825

武知京三教授 略歴および著作目録

武知京三教授 略歴および著作目録

略 歴

生年月日 昭和15年5月15日 中国東北部生まれ

学 歴

- 昭和40年3月 北九州大学商学部（現北九州市立大学経済学部）卒業
- 昭和42年3月 大阪府立大学大学院経済学研究科修士課程修了
- 昭和45年3月 大阪府立大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学
- 昭和45年10月 大阪府立大学経済学部へ内地留学「近代地方産業史の研究」（昭和46年3月まで）

職 歴

奈良県立短期大学助手・講師，花園大学文学部助教授などを経て

- 昭和55年4月 近畿大学短期大学部助教授
- 昭和58年4月 近畿大学商経学部助教授（商経学部商学科へ移籍）
- 昭和60年4月 近畿大学商経学部教授
- 平成元年4月 近畿大学大学院経済学研究科修士課程「経済史特論Ⅱ」
◎教授認定（教員組織審査）
- 平成3年4月 近畿大学大学院経済学研究科博士課程「経済史特殊研究Ⅱ」
◎教授認定（教員組織審査）
- 平成4年4月 近畿大学大学院経済学研究科博士前期課程担当
- 平成5年4月 近畿大学大学院経済学研究科博士後期課程担当
大阪府立大学経済学部非常勤講師（平成14年9月まで）
- 平成5年10月 近畿大学商経学部商学科長（平成10年9月まで）
- 平成6年4月 近畿大学大学院商学研究科博士前期・後期課程担当
- 平成10年10月 近畿大学商経学部長補佐（平成11年3月まで）
- 平成11年4月 近畿大学短期大学部長（平成14年9月まで）
- 平成14年10月 近畿大学商経学部長（平成20年3月まで）
- 平成15年4月 近畿大学経済学部教授（商経学部の分離改組による）
近畿大学経済学部長（平成19年3月まで）
- 平成19年3月 近畿大学定年退職
- 平成19年4月 近畿大学経済学部特任教授（平成21年3月まで）
学校法人近畿大学理事（現在に至る）
- 平成21年4月 近畿大学名誉教授

学 位

経済学修士（大阪府立大学），昭和42年3月
京都大学博士（経済学），論経博第138号，平成5年1月

学会・社会活動

昭和58年8月～平成12年11月 鉄道史学会理事
平成10年11月～平成12年11月 鉄道史学会会長
平成12年11月～平成16年11月 鉄道史学会評議員
平成16年11月～現在に至る 鉄道史学会顧問
平成5年1月～平成16年12月 社会経済史学会評議員
平成5年5月～平成21年5月 交通史研究会委員
平成21年5月～現在に至る 交通史研究会顧問
昭和45年11月～平成9年3月 東大阪市史編纂委員会委員
昭和47年11月～平成6年3月 和歌山県史編纂委員会専門委員
昭和49年4月～平成17年3月 岸和田市史編纂委員会委員
昭和52年5月～昭和56年3月 大阪市東区史刊行委員会編集委員
昭和53年4月～昭和54年12月 国連大学受託調査プロジェクト研究会委員
昭和54年9月～平成9年3月 新修大阪市史編纂委員会委員
昭和59年4月～平成3年10月 奈良県薬業史編纂審議会専門委員会委員
昭和59年10月～現在に至る 三重県史編纂委員会専門委員
昭和60年10月～平成18年4月 大阪市史料調査会監事
平成18年5月～現在に至る 大阪市史料調査会理事
昭和63年4月～平成13年3月 四日市市史編集専門部会委員
平成5年4月～平成13年3月 四日市市史編集専門委員会委員
平成4年7月～平成12年3月 守口市史編纂委員会委員
平成9年12月～現在に至る 奈良県薬事審議会委員（会長）
平成14年9月～現在に至る 名張市史編集専門委員会委員
平成15年7月～現在に至る 亀山市史編集専門部会委員
平成18年4月～平成19年3月 財団法人大学基準協会平成18年度相互評価委員会経済学系専門評価分科会主査
平成19年4月～平成20年3月 財団法人大学基準協会平成19年度大学評価委員会経済学系専門評価分科会主査
平成20年7月～現在に至る 奈良県後発医薬品適正使用等協議会委員（会長）

賞 罰

昭和62年3月 交通図書賞受賞（『日本の鉄道—成立と展開』，分担執筆，日本経済評論社，昭和61年5月）

平成5年11月

日本交通学会賞受賞(『近代日本交通労働史研究—都市交通と国鉄労働問題』, 単著, 日本経済評論社, 平成4年9月)

著作目録

単 著

1. 『近代中小企業構造の基礎的研究』, 雄山閣出版, 昭和52年4月
2. 『明治前期輸送史の基礎的研究』, 雄山閣出版, 昭和53年4月
3. 『都市近郊鉄道の史的展開』(鉄道史叢書3), 日本経済評論社, 昭和61年7月
4. 『日本資本主義と地場資本—関西の地場産業史研究』, 雄山閣出版, 平成2年7月
5. 『日本の地方鉄道網形成史—鉄道建設と地域社会』, 柏書房, 平成2年10月
6. 『近代日本交通労働史研究—都市交通と国鉄労働問題』(鉄道史叢書7), 日本経済評論社, 平成4年9月
7. 『近代日本と地域交通—伊勢電と大軌系(近鉄)資本の動向』(日本資本主義史叢書・中村哲・下谷政弘監修), 臨川書店, 平成6年12月
8. 『近代日本と大和売薬—売薬から配置家庭薬へ』, 税務経理協会, 平成7年9月
9. 『近代日本と地域産業—東大阪の産業集積と主要企業群像』, 税務経理協会, 平成10年10月
10. 『地域経済と企業家精神—奈良の地場産業と経済団体の歩み』, 税務経理協会, 平成12年9月

共著・分担執筆

1. 東大阪市史編纂委員会『東大阪市史』近代I, 東大阪市, 昭和48年3月
2. 北崎豊二編『大阪の産業と社会』(毎日放送文化双書6), 毎日放送, 昭和48年11月
3. 枚方市史編纂委員会『枚方市史』第4巻, 枚方市, 昭和55年3月
4. 大阪市東区史刊行委員会『続東区史』第1巻(行政編), 大阪市東区史刊行委員会, 昭和55年3月
5. 大阪市東区史刊行委員会『続東区史』第2巻(経済編), 大阪市東区史刊行委員会, 昭和55年6月
6. 枚方市史編纂委員会『枚方市史』第5巻, 枚方市, 昭和59年3月
7. 南海道総合研究所編『南海沿線百年誌』, 南海電気鉄道株式会社, 昭和60年5月
8. 大阪社会労働運動史編集委員会『大阪社会労働運動史』第1巻(戦前篇上), 大阪社会運動協会, 昭和61年1月
9. 野田正徳・原田勝正・青木栄一・老川慶喜編『日本の鉄道—成立と展開』(鉄道史叢書1), 日本経済評論社, 昭和61年5月

10. 福山昭・武知京三編『社会経済の史的展開—地域史的アプローチ』, 松籟社, 昭和61年7月
11. 大阪社会労働運動史編集委員会『大阪社会労働運動史』第3巻(戦後篇), 大阪社会運動協会, 昭和62年10月
12. 大阪社会労働運動史編集委員会『大阪社会労働運動史』第2巻(戦前篇下), 大阪社会運動協会, 昭和63年12月
13. 大阪府史編集専門委員会『大阪府史』第7巻近世編Ⅲ, 大阪府, 平成元年3月
14. 和歌山県史編纂委員会『和歌山県史』近現代一, 和歌山県, 平成元年8月
15. 新修大阪市史編纂委員会『新修大阪市史』第5巻, 大阪市, 平成3年3月
16. 大阪社会労働運動史編集委員会『大阪社会労働運動史』第4巻(高度成長期上), 大阪社会運動協会, 平成3年6月
17. 奈良県葉業史編纂審議会『奈良県葉業史』通史編, 奈良県葉業連合会, 平成3年10月
18. 和歌山県史編纂委員会『和歌山県史』近現代二, 和歌山県, 平成5年3月
19. 新修大阪市史編纂委員会『新修大阪市史』第6巻, 大阪市, 平成6年12月
20. 宇田正・浅香勝輔・武知京三編『民鉄経営の歴史と文化—西日本編』, 古今書院, 平成7年9月
21. 近畿大学商経学部関西経済研究会編『地域経済と企業家精神』, 近畿大学商経学部(特別プロジェクト), 平成8年3月
22. 東大阪市史編纂委員会『東大阪市史』近代Ⅱ, 東大阪市, 平成9年2月
23. 奈良商工会議所編『奈良商工会議所創立50周年記念誌』, 奈良商工会議所, 平成9年11月
24. 奈良県商工労働部中小企業指導課『経営動向分析調査事業報告書(医薬品製造業)』, 奈良県, 平成11年3月
25. 四日市市史編纂委員会『四日市市史』第18巻通史編近代, 四日市市, 平成12年3月
26. 野田正徳編『明治期鉄道業の総合的研究』, 平成9年度～平成11年度科学研究費補助金(基盤研究B)研究成果報告書, 平成12年3月
27. 守口市史編纂委員会『守口市史』本文編第4巻, 守口市, 平成12年5月
28. 四日市市史編纂委員会『四日市市史』第19巻通史編現代, 四日市市, 平成13年7月
29. 近畿大学商経学部関西経済研究会編『大阪周辺地域の工業化と関西経済』, 近畿大学商経学部(特別プロジェクト), 平成14年3月
30. 名張市史編纂委員会『おきつもの名張—今と昔』, 名張市, 平成16年3月
31. 岸和田市史編纂委員会『岸和田市史』第4巻近代編, 岸和田市, 平成17年3月

論文・資料等

1. 「阪神地方におけるマッチ工業の展開」, 奈良県立短期大学『研究季報』第15巻第

- 1・2号, 昭和42年6月
2. 「奈良墨の史的—考察」, 大阪府立大学『歴史研究』第10号, 昭和43年3月
3. 「明治大正期のマッチ労働力の存在形態」, 奈良県立短期大学『研究季報』創立15周年記念号, 昭和43年9月
4. 「中小企業問題序説—歴史的分析の重要性についての覚書」, 奈良県立短期大学『研究季報』第16巻第3・4号, 昭和43年12月
5. 「日本マッチ工業の発展に関する若干の覚書」, 日本燐寸工業会『日本燐寸工業会会報』第57号, 昭和44年1月
6. 「大阪タオル工業の沿革—河内地方を中心として」, 大阪府立大学『歴史研究』第12号, 昭和45年3月
7. 「明治初期の郵便送達機関—主として郵便人力車について」, 奈良県立短期大学『研究季報』第18巻第1・2号, 昭和45年9月
8. 「郵便人力車の命運—郵便史の一齣」, 大阪歴史学会近代史部会『近代史研究』第14号, 昭和46年4月
9. 「明治新政府の陸運政策—近江国石部宿駅・陸運会社の変遷」(上)(下), 陸運新聞社『ROAD』第2巻第7号, 第8号, 昭和46年8月～9月
10. 「明治期地方産業の展開—河内タオル工業の場合」, 奈良県立短期大学『研究季報』第19巻第1号, 昭和46年9月
11. 「明治期東大阪における紡織業の展開」, 大阪府立大学経済学会『経済研究』第16巻第5号, 昭和46年10月
12. 「東大阪における地場産業の展開」, 大阪府立大学『歴史研究』第13号, 昭和46年10月
13. 「明治大正期マッチ工業の担い手たち」, 大阪歴史学会近代史部会『近代史研究』第15号, 昭和46年12月
14. 「明治期東大阪の資産家構成」, 奈良県立短期大学『研究季報』第19巻第3・4号, 昭和47年3月
15. 「明治初期の陸運業について」, 大阪歴史学会『ヒストリア』第60号, 昭和47年5月
16. 「内国通運会社史の一断面」, 近畿大学青踏女子短期大学『青踏女子短大紀要』創刊号, 昭和47年11月
17. 「維新期の近江国石部宿駅について」, 大阪歴史学会近代史部会『近代史研究』第16号, 昭和47年12月
18. 「明治期—私有鉄道会社の命運」, 黒羽兵治郎先生古希記念会編『社会経済史の諸問題』—黒羽兵治郎先生古希記念論文集一, 巖南堂書店, 昭和48年11月
19. 「草創期の内国通運会社」, 大阪府立大学『歴史研究』第15号, 昭和48年12月
20. 「京都大坂間郵便馬車会社について」, 近畿大学短期大学部『近畿大学短大論集』第6巻第2号, 昭和49年3月

21. 「大阪朝日新聞におけるマッチ工業関係主要記事」, 近畿大学青踏女子短期大学『青踏女子短大紀要』第3号, 昭和49年5月
22. 「日本資本主義発展期の土地会社—菱屋土地建物株式会社の創設計画を中心として」, 近畿大学青踏女子短期大学『青踏女子短大紀要』第4号, 昭和49年11月
23. 「明治初期陸運史の一断面」, 大阪府立大学『歴史研究』第16号, 昭和49年12月
24. 「東大阪土地建物株式会社の経営史的考察」, 近畿大学短期大学部『近畿大学短大論集』第7巻第2号, 昭和50年3月
25. 「河内紡績株式会社の設立」, 近畿大学短期大学部『近畿大学短大論集』第7巻第2号, 昭和50年3月
26. 「明治期農村工業の命運—住道製油株式会社をめぐる—」, 近畿大学青踏女子短期大学『青踏女子短大紀要』第5号, 昭和50年4月
27. 「新宮鉄道の設立過程」, 和歌山県史編纂委員会『和歌山県史研究』第3号, 昭和50年10月
28. 「大正期阪神地方の土地・信託会社—『日本全国諸会社役員録』を素材として」, 近畿大学短期大学部『近畿大学短大論集』第8巻第1号, 昭和50年12月
29. 「大正期の土地会社経営について—芦屋土地株式会社を中心に」, 大阪府立大学『歴史研究』第17号, 昭和50年12月
30. 「明治後期在阪燐寸製造工業経営の一展開—昌盛製燐株式会社の実態を通じて」, 大阪歴史学会編『近代大阪の歴史的展開』, 吉川弘文館, 昭和51年1月
31. 「第2次鉄道熱期についての一考察—西成・河陽両鉄道会社を中心に」, 近畿大学短期大学部『近畿大学短大論集』第8巻第2号, 昭和51年3月
32. 「日清戦争後鉄道会社の株主とその系譜」, 近畿大学青踏女子短期大学『青踏女子短大紀要』第6号, 昭和51年9月
33. 「明治期—地方企業の興亡—綿実製油会社から堺紡績会社への歩み」, 近畿大学短期大学部『近畿大学短大論集』第9巻第1号, 昭和51年11月
34. 「南海鉄道創設過程の一齣」, 近畿大学短期大学部『近畿大学短大論集』第9巻第2号, 昭和52年3月
35. 「産業と風土—東大阪の産業史話」, 近畿大学『近代風土』編集委員会『近代風土』第2号, 昭和53年6月
36. 「和歌山における鉄道敷設概況」, 安藤精一編『和歌山の研究』第4巻近代編, 清文堂出版, 昭和53年7月
37. 「わが国ボタン産業史の一齣」, 国連大学『人間と社会の開発』—日本の経験プロジェクト雑貨産業部会報告書(単独論文), 昭和54年7月
38. 「わが国掛時計製造の展開と形態」, 国連大学『人間と社会の開発』—日本の経験プロジェクト雑貨産業部会報告書(単独論文), 昭和55年7月
39. 「明治末期の紀勢鉄道敷設運動」, 野田正穂・原田勝正・青木栄一編『明治期鉄道史資料』月報 NO5, 日本経済評論社, 昭和55年8月

40. 「南海鉄道の新商法について—日本鉄道発達史の一齣」, 野田正穂・原田勝正・青木栄一編『明治期鉄道史資料』月報 NO7, 日本経済評論社, 昭和55年10月
41. 「近代大阪における鉄道建設の一類型—地方鉄道創業史の一齣」, 黒羽兵治郎先生喜寿記念会編『大阪地方の史的研究』, 巖南堂書店, 昭和55年10月
42. 「大阪・和歌山間の鉄道建設について—国鉄阪和線生誕の過程」, 大阪市史編纂所『大阪の歴史』第2号, 昭和55年12月
43. 「紀勢線の開通と紀南の旅—戦前昭和期の動向を中心として」, 近畿大学『近代風土』編集委員会『近代風土』第10号, 昭和55年12月
44. 「わが国軽便鉄道史の一側面—山東軽便鉄道の場合」, 大阪府立大学『歴史研究』第21号, 昭和55年12月
45. 「紀勢線の敷設問題とその周辺」, 近畿大学短期大学部『近畿大学短大論集』第13巻第2号, 昭和56年3月
46. 「都市交通史の研究—和歌山の市内電車について」, 阪南大学『阪南論集』社会科学編第16巻第3・4号—田谷博吉・速水敏教授退任記念号—, 昭和56年3月
47. 「解題『鉄道局〔庁〕年報』」, 野田正穂・原田勝正・青木栄一編『明治期鉄道史資料』第1期第1集第12巻, 日本経済評論社, 昭和56年3月
48. 「和歌山鉄道の『沿線案内』に寄せて—南海貴志川線前史」, 南海道総合研究所『南海道研究』第51号, 昭和56年8月
49. 「南海高野線の成立過程」(1)(2), 南海道総合研究所『南海道研究』第52号, 第53号, 昭和56年9月~10月
50. 「局地鉄道の成立と展開—和歌山県下の3軽便鉄道をめぐって」, 近畿大学短期大学部『近畿大学短大論集』第14巻第1号, 昭和56年12月
51. 「生誕期和歌山県下の自動車運輸事業—白浜温泉自動車を中心として」, 交通史研究会『交通史研究』第7号, 昭和57年2月
52. 「日本鉄道史に関する一覚書—鉄道国有化前後の動向」, 近畿大学短期大学部『近畿大学短大論集』第14巻第2号, 昭和57年3月
53. 「地域社会と鉄道建設—御坊臨港鉄道の場合」, 大阪府立大学『歴史研究』第22号, 昭和57年9月
54. 「西成鉄道の成立と展開—日本鉄道史の一断面」, 大阪市史編纂所『大阪の歴史』第7号, 昭和57年9月
55. 「地域社会における鉄道建設小史—御坊臨港鉄道創設関係資料の紹介」, 近畿大学短期大学部『近畿大学短大論集』第15巻第1号, 昭和57年12月
56. 「地域社会における鉄道誘致運動の展開—紀勢西線御坊延長をめぐって」, 交通史研究会『交通史研究』第9号, 昭和58年3月
57. 「和歌山県域におけるバス事業の成立—和歌山地方の動向をめぐって」, 森杉夫先生退官記念会編『政治経済の史的研究』, 巖南堂書店, 昭和58年4月
58. 「全日本鉄道従業員組合機関誌の名称変更—『現業公論』から『鉄道労働』へ」(1)

- (2)、野田正徳・原田勝正・青木栄一編『大正期鉄道史資料』月報 NO4, NO5, 日本経済評論社, 昭和58年5月～6月
59. 「明治期の船員雇用問題について」, 大阪社会運動協会『大阪地方社会労働運動史編集ニュース』第16号, 昭和58年7月
60. 「大正15年創刊の雑誌『鉄道生活』とその周辺」(I)～(V), 大阪労働協会『月刊労働』NO412～NO416, 昭和58年6月～10月
61. 「交通機関の変貌と交通労働者—『人力車』から『円タク』への移行」, 近畿大学商経学会『商経学叢』第30巻特別号—竹中靖一博士退任記念—, 昭和59年3月
62. 「第一次大戦後の国鉄労働団体について—大日本機関車乗務員会の動向」, 大阪私立短期大学協会『研究報告集』第20集, 昭和59年3月
63. 「全日本鉄道従業員組合と労働農民党」, 武部善人・谷山新良編『産業経済分析—理論的・歴史的アプローチ』, 大明堂, 昭和59年5月
64. 「泉佐野のタオル工業」, 大阪春秋社『大阪春秋』第41号, 昭和59年11月
65. 「南海軌道線の生誕と統合過程—南海鉄道と阪堺電軌の対抗をめぐって」, 大阪経済大学日本経済史研究所編『経済史・経営史論集』—日本経済史研究所創立五十周年記念—, 大阪経済大学, 昭和59年12月
66. 「大阪市営交通事業の展開と労働問題—1920年代の動向を中心として」, 近畿大学労働問題研究所『労働問題研究』第20号, 昭和60年1月
67. 「南海鉄道の生誕をめぐる諸動向」(1)～(5), 南海道総合研究所『南海道研究』第96号～第100号, 昭和60年5月～9月
68. 「南海鉄道の電化と労務問題一斑」, 鉄道史学会『鉄道史学』第2号, 昭和60年8月
69. 「生誕期の関西主要電鉄一斑」, 大阪社会運動協会『大阪地方社会労働運動史編集ニュース』第36号, 昭和60年8月
70. 「紀勢鉄道(紀勢線)の建設と三重県」, 三重県総務部『三重県史研究』第2号, 昭和61年3月
71. 「南海沿線あれこれ—戦前の一齣」, 原田勝正・小池滋・青木栄一・宇田正編『鉄道と文化』, 日本経済評論社, 昭和61年7月
72. 「部落改善事業と就学奨励—三重県下一村落の事例」, 近畿大学『同和研究資料』第7号, 昭和61年11月
73. 「鉄道国有化前在阪私鉄の一動向」, 近畿大学労働問題研究所『労働問題研究』第24号, 昭和62年1月
74. 「日本資本主義と地方中小私鉄の成立—三重県域における一事例」, 日本中小企業学会編『高度情報化と中小企業』, 同友館, 昭和62年4月
75. 「時局下南海鉄道の一動向—『社報』にみる諸相」, 安藤精一先生退官記念会編『和歌山地方の研究』(発売宇治書店), 昭和62年6月
76. 「私鉄経営者論の課題—大軌経営陣の素描」, 鉄道史学会『鉄道史学』第5号, 昭

和62年10月

77. 「国鉄阪和線払下げ問題」, 鉄道史学会『鉄道史学会会報』NO5, 昭和63年3月
78. 「日本資本主義と地方中小私鉄の展開—松阪電気鉄道の興亡を中心として」, 大阪郵政考古学会『郵政考古紀要』13—藪内吉彦退官記念論攷—, 昭和63年6月
79. 「解題『鉄道会議議事録』」, 野田正穂・原田勝正・青木栄一・老川慶喜編『明治期鉄道史資料』第Ⅱ期第2集第18巻, 日本経済評論社, 平成元年2月
80. 「奈良県配置家庭菜とその振興策—昭和恐慌期の動向を中心として」, 近畿大学商経学会『商経学叢』第35巻第3号, 平成元年3月
81. 「鉄道建設と地域社会—三重県下の一事例」, 日本交通学会『交通学研究』1988年研究年報, 平成元年3月
82. 「伝統産業における企業経営小史—奈良県製墨業の事例」, 近畿大学労働問題研究所『労働問題研究』第29号, 平成元年7月
83. 「日本資本主義と地方中小私鉄—三重県下における郡是の鉄道の成立」, 近畿大学商経学会『商経学叢』第36巻第1号, 平成元年9月
84. 「近鉄資本による交通網の再編と地域社会—1960年代の三重県下における動向」, 近畿大学商経学会『商経学叢』第36巻第3号, 平成2年3月
85. 「近鉄資本の動向と地域社会—1960年代後半の三重県下の状況」, 大阪府立大学『歴史研究』第28・29合併号, 平成2年3月
86. 「戦後のローカル私鉄廃止問題—三重交通神都線の場合」, 吉田昇三先生傘寿記念論文集編集委員会編『経済発展過程の研究』, 不二出版, 平成2年4月
87. 「戦時交通統制と大阪市営交通事業—大阪乗合自動車の買収をめぐる」, 近畿大学商経学会『商経学叢』第37巻第1・2・3号—近畿大学創立65周年記念論文集一—, 平成2年11月
88. 「戦時交通統制と大阪市営交通事業—阪堺電鉄の買収をめぐる」, 近畿大学商経学会『商経学叢』第38巻第1号, 平成3年7月
89. 「大阪市電争議後の交通労働運動—組合再建運動と『自助会』の確立」, 追手門学院大学経済学会『追手門経済論集』第27巻第1号—宇田正教授還暦記念号—, 平成4年4月(学術文献刊行会『日本史学文献目録』1992年版へ収録, 朋友出版, 平成6年6月)
90. 「解題『開通五拾年』『南海鉄道発達史』」, 野田正穂・原田勝正・青木栄一・老川慶喜編『大正期鉄道史資料』第Ⅱ期第10巻, 日本経済評論社, 平成4年9月
91. 「解題『国鉄労働関係資料』」, 野田正穂・原田勝正・青木栄一・老川慶喜編『大正期鉄道史資料』第Ⅱ期第17巻, 日本経済評論社, 平成4年11月
92. 「大阪のモータリゼーション—乗合バスとタクシー」, 大阪春秋社『大阪春秋』第69号, 平成4年11月
93. 「三重県下のローカル私鉄と大軌・参急資本の動向」(1)~(3), 近畿大学商経学会『商経学叢』第40巻第2号, 第40巻第3号, 第41巻第1号, 平成5年12月~平成6

年7月

94. 「地場産業の歩み―貝鉦編」, 奈良県広域地場産業振興センター『インテクノNARA』NO26, 平成6年3月
95. 「伊勢鉄道(伊勢電気鉄道)の創設事情」, 交通史研究会『交通史研究』第32号, 平成6年4月
96. 「四日市港をめぐる海運の動向」, 山本弘文編『近代交通成立史の研究』, 法政大学出版社, 平成6年6月
97. 「五十銭タクシー、『円タク』の活況」, 大阪春秋社『大阪春秋』第75号, 平成6年6月
98. 「逓信省秘書課『部外者効績事項書』―戦時統制史料の紹介」, 近畿大学中央図書館報『香散見草』22号, 平成6年12月
99. 「紀伊半島をめぐる鉄道史」, 地方史研究協議会『地方史研究』第45巻第4号, 平成7年8月(学術文献刊行会『日本史学文献目録』1995年版へ収録, 朋友出版, 平成7年11月)
100. 「大和売薬営業者の経営理念小史―前田長三郎『大和売薬人物誌』を素材として」, 近畿大学商経学会『商経学叢』第42巻第2・3号―近畿大学創立70周年記念論文集一, 平成7年11月
101. 「生駒山麓の産業―伸線産業」, 大阪春秋社『大阪春秋』第81号, 平成7年12月
102. 「『五十払い』のルーツについて」, 大阪春秋社『大阪春秋』第89号, 平成9年12月
103. 「大阪環状線前史―西成鉄道の歩みをめぐる」, 大阪春秋社『大阪春秋』第92号, 平成10年9月
104. 「私鉄と不動産業のタイアップ商法―大軌(現近鉄)の誕生と初期の土地住宅経営」, 大阪春秋社『大阪春秋』第96号, 平成11年9月
105. 「市電の活況と青バス・銀バス・円タクの競争」, 大阪春秋社『大阪春秋』第102号, 平成13年3月
106. 「明治期の私鉄と国有化問題―関西鉄道と南海鉄道の動向をめぐる」, 近畿大学大学院経済学研究科創立十周年記念論集編集委員会編『現代経済学の展望と課題』, 近畿大学大学院経済学研究科, 平成13年3月
107. 「京阪電気鉄道の展開と地域社会の動向―沿線守口地域の動向を中心として」, 野田正穂・老川慶喜編『日本鉄道史の研究』, 八潮社, 平成15年4月
108. 「鉄道史研究とその周辺―社会経済史の一隅から」, 交通史研究会『交通史研究』第64号, 平成19年12月
109. 「今里(東成)の産業と企業―企業者史的視点から」, 新風書房『大阪春秋』第130号, 平成20年4月
110. 「関西の私鉄小史―南海と大軌(近鉄)をめぐる」, 大阪市公文書館『大阪市公文書館研究紀要』第21号―開設20周年記念号一, 平成21年3月

翻刻資料集

1. 和歌山県史編纂委員会『和歌山県史』近現代史料4, 共編, 和歌山県, 昭和53年3月
2. 和歌山県史編纂委員会『和歌山県史』近現代史料5, 共編, 和歌山県, 昭和54年3月
3. 岸和田市史編纂委員会『岸和田市史』第8巻史料編Ⅲ, 共編, 岸和田市, 昭和55年8月
4. 和歌山県史編纂委員会『和歌山県史』近現代史料6, 共編, 和歌山県, 昭和57年1月
5. 和歌山県史編纂委員会『和歌山県史』近現代史料7, 共編, 和歌山県, 昭和57年3月
6. 東大阪市史編纂委員会『東大阪市史』近代Ⅰ史料編, 共編, 東大阪市, 昭和57年3月
7. 東大阪市史編纂委員会『東大阪の鉄道史資料集―日清戦争期～第一次大戦後』(東大阪市史資料第9集), 単著, 東大阪市, 昭和62年3月
8. 奈良県薬業史編纂審議会『奈良県薬業史』資料編, 共編, 奈良県薬業連合会, 昭和63年3月
9. 三重県史編纂委員会『三重県史』資料編近代3(産業経済), 共編, 三重県, 昭和63年3月
10. 東大阪市史編纂委員会『東大阪市史』近代Ⅱ史料編, 共編, 東大阪市, 昭和63年6月
11. 三重県史編纂委員会『三重県史』資料編現代2(産業経済), 共編, 三重県, 平成4年3月
12. 四日市市史編纂委員会『四日市市史』第12巻史料編近代Ⅱ, 共編, 四日市市, 平成5年8月
13. 四日市市史編纂委員会『四日市市史』第14巻史料編現代Ⅰ, 共編, 四日市市, 平成8年8月
14. 守口市史編纂委員会『朝日新聞記事集成』第1集～第5集, 共編, 守口市, 平成8年11月～平成9年3月
15. 四日市市史編纂委員会『四日市市史』第15巻史料編現代Ⅱ, 共編, 四日市市, 平成10年3月

辞典・事典

1. 国史大辞典編集委員会編『国史大辞典』(2項目), 吉川弘文館, 平成4年4月
2. 『日本史大事典』編集部編『日本史大事典』(4項目), 平凡社, 平成5年5月
3. 朝日新聞社編『朝日歴史人物事典』(4項目), 朝日新聞社出版局, 平成6年1月
4. 地方史研究協議会編『地方史事典』(1項目), 弘文堂, 平成9年4月

5. 丸山雍成・小風秀雅・中村尚史編『日本交通史辞典』（7項目），吉川弘文館，平成15年9月
6. 黒田日出男・加藤友康・保谷徹・加藤陽子編『日本史文献事典』（3項目），弘文堂，平成15年12月

書評・その他

1. 「書評・薮内吉彦『日本郵便創業史—飛脚から郵便へ』」（雄山閣出版），大阪歴史学会『ヒストリア』第72号，昭和51年9月
2. 「わが著書を語る—明治前期輸送史の基礎的研究」（雄山閣出版），出版ニュース社『出版ニュース』78年7月上旬号，昭和53年7月
3. 「書評・和歌山市史編纂委員会『和歌山市史』第7・8・9巻」（和歌山市），和歌山地方史研究会『和歌山地方史研究』第5号，昭和57年12月
4. 「1920年代国鉄労働問題についての文献」，大阪労働協会『月刊労働』NO423，昭和59年5月
5. 「書評・老川慶喜『明治期地方鉄道史研究—地方鉄道の展開と市場形成』」（日本経済評論社），鉄道史学会『鉄道史学』第1号，昭和59年8月
6. 「私の鉄道史研究—鉄道史との出会いとその視点」，鉄道史学会『鉄道史学会会報』NO8，平成2年3月
7. 近畿大学商経学部関西経済研究会編『東洋紡績経済研究所旧蔵文献目録』（未定稿），近畿大学商経学部（特別プロジェクト），共編，平成3年3月
8. 「書評・黄完晟『日本都市中小工業史』」（臨川書店），日本史研究会『日本史研究』368号，平成5年4月
9. 「書評・老川慶喜『産業革命期の地域交通と輸送』」（日本経済評論社），史学会『史学雑誌』第102編第10号，平成5年10月
10. 「（座談会）『三重県史』資料編近代の編集を終えて」，三重県総務部『三重県史研究』第10号，平成6年3月
11. 「『新修大阪市史』第六巻の編纂を終えて」，大阪市史編纂所『大阪の歴史』第43号，平成6年12月
12. 「実証史学への道—日本経済史」，近畿大学商経学部編『知識の狩人—商学・経済学・経営学の世界』，近畿大学商経学部，平成8年3月
13. 「（インタビュー）『ルポ』起業家精神と関西」，関西電力株式会社『縁』69号，平成8年4月
14. 「黒羽兵治郎先生との出会い」，黒羽兵治郎博士追悼記念文集刊行会『行雲流水—黒羽先生ご夫妻の思い出』，大阪経済大学日本経済史研究所，平成8年9月
15. 「（インタビュー）渋滞生む『ごとうび』とは江戸時代なにわ生まれの上方商法“ご機嫌伺い”に得意先回り」，『東京新聞』平成9年9月28日付朝刊
16. 「稀有の組織で大成功」，三光丸同盟会創立百周年記念誌編集委員会『同盟人百年の

軌跡』，三光丸同盟会，平成11年12月

17. 「(インタビュー) 技術立国日本の逆襲 9・進取の気風」，『産経新聞』平成15年8月19日付朝刊
18. 「日本経済史・経営史の一隅から—日本経済史」，近畿大学経済学部編『ハンティング・エピステーメ—経済学への誘い』，近畿大学経済学部，平成16年4月
19. 「(インタビュー) 『五』と『十』の意外な効用」，『日本経済新聞』平成16年4月28日付夕刊
20. 「(インタビュー) 集金より営業五十払い」，『読売新聞』平成17年1月19日付夕刊
21. 「名張駅と西名張駅—名張への鉄道延伸」，名張市総務部文書行政室市史編纂担当『名張市史だより』NO3，平成20年3月
22. 「(アンケート取材) 関西の鉄道を往く」の一部，明治安田生命保険相互会社関西を考える会編『関西の道を巡る』，平成20年6月
23. 「兄玉幸多先生の思い出」，交通史研究会『交通史研究』第66号，平成20年8月

経済学会規約

- 第1条 本学会は近畿大学経済学会と称する。
- 第2条 本学会の事務所は本学経済学部資料室内におく。
- 第3条 本学会は学術の発展に寄与し、会員の研究・教育の振興を図ることを目的とする。
- 第4条 本学会は本学経済学部及び大学院経済学研究科の専任の教授，准教授，講師，及び特任教員を以って組織する。
- 第5条 本学会は次の事業を行う。
1. 機関誌『生駒経済論叢』（年3回）の刊行。
 2. 研究会ならびに講演会等の開催。
 3. 他学部交流事業として、経営学部教員の研究成果の機関誌への掲載。
 4. その他本学会の目的達成に必要とする事項。
- 第6条 本学会の刊行物は無償又は有償にて配布する。
- 第7条 本学会には次の委員をおく。
1. 委員長1名
 2. 編集委員若干名
- 第8条 1. 委員長は経済学部長とし、本会を代表し会員中より委員を委嘱する。
2. 委員の任期は1カ年とする。
- 第9条 本学会の年度は4月1日より翌年3月31日迄とし、本学会の運営に必要な経費は経済学部運営費の内より支弁する。
- 第10条 『生駒経済論叢』に掲載された作品から発生する著作権は、原則として「経済学会」に帰属するものとする。ただし、執筆者がみずから執筆した著作を他の書誌に転載するにあたっては、原則として許可するが、別途経済学会に申し出て許可を得ること。
- 附 則
- この規約は、平成15年4月1日より施行する。
- この規約の改正は、平成17年10月1日から施行する。
- この規約の改正は、平成19年4月1日から施行する。

前号目次〔第6巻 第3号（通巻第18号）〕 2009年3月31日発行

— 論 文 —

持続可能な経済・生活基盤構築の試み

トセバン協同組合（メキシコ）のケーススタディ……………坂 田 裕 輔

似て非なる「アダム・スミスの娘たち」

——マルティノー著『経済学実例集』にみるマーセットの影響——

……………吉 野 成 美

下級財を含む場合の効用関数と下級財や上級財の特性について……………藤 本 正 樹

ドイツ連邦・州間財政調整の財政責任史〔IV〕

——第3期の協調的連邦主義による全州的財政調整への展開——

……………中 井 英 雄・伊 東 弘 文・齊 藤 慎

Consideration on the Effects of Increase in Foreign Tourists on the Region

——From Cases in Tsushima City, Nagasaki Prefecture——… Hiromi Kataoka

前号目次〔第6巻 第3号（通巻第18号）〕 2009年3月31日発行

—Articles—

- Building a Sustainable Society:
A Case Study for Tosepan Titaniske…………… Yusuke Sakata
- Jane Marcet’s influence on Harriet Martineau reflected
in *Illustrations of Political Economy*…………… Narumi Yoshino
- On the characteristics of utility functions in the case of inferior
and superior goods……………Masaki Fujimoto
- The History of Public Accountability on Interstate Equalization
Payments in Germany: Part III as the Calculation Method
including the New States in 1995–2004
…………… Hideo Nakai, Hirofumi Ito and Shin Saito
- Consideration on the Effects of Increase in Foreign Tourists on the Region
—From Cases in Tsushima City, Nagasaki Prefecture—… Hiromi Kataoka

Contents

Foreword	Yoshiharu Imanishi
U. S. Travel and Tourism Industry	Yoshimasa Asaba
Railway Construction of Sakuranomiya Line, the Terminal Station by Kansei Railway Company in the Mid-Meiji Era and their Sequel —Mainly Connecting with Osaka Railway Company—	Tadashi Uda
The recruitment of stocks by Tohoku Railway Company in the early of 1880's —The recognition for the railway by the men of high repute in Hida area—	Yoshinobu Oikawa
Receptor process of “Merging of municipalities at the Showa era” —a Case of Hikone City in Shiga Prefecture—	Tomohiro Okada
Collapse of Estate & Resort Developments at the Foot of the “IKOMA” Mountain: Focusing on the “KUSAKA” Spa Land Company	Isao Ogawa
Regional Development and Improvement of Transportation Networks —A Case Study of Shimane Prefecture in the High Economic Growth Era—	Takashi Kawashima
Budweiser Trademark Dispute: its Past and Present	Tomio Kimoto
Editorial Trends on Traffic Safety Issues in Car Magazines in Pre-World War II Period of Japan	Toshihiko Saito
Roles of Takuzo Usiba in Sanyo Railway	Jiro Saito
A Booklet for 1891 Land Price Revision Campaign in Japan —“Genso Sanko Ippan” by Amagasu, Higashio, and Waki—	Hajime Sakai
The world financial crisis of 2008 in consequence of Neo-liberalism	Katsumi Sakuradani
Consular reports and trade expansion measures of the Ministry of Agriculture and Commerce in the latter half of Meiji Era	Masaaki Takashima

Before World War II, the terminal department store —Daitetsu department store—	Masayuki Taniuchi
A Couple of Issues Regarding the Sanadayama Military Cemetery	Akio Hotta
Communication and transport with the inland in the years following the opening of the Port of Yokohama: The case of Kōshūya	Hiromi Masuda
On 2 Laws of Ko-unso and minor Transportation Business (Forwarding Agency) in Showa-10s in Kyushu	Shinobu Miura
Feudal Rent to Land Tax	Yuuzou Mima
The construction of the Gongenmae station of Meisho line of JNR and the regional situation	Toshio Yoshimura
A Yellow Tail Transportation under the Feudalistic Transportation System —From Hokuriku to Shinano—	Kanji Kurumisawa
Japanese convenience store in 70's from the latter half of 1960's	Yoshihito Ida
The birth of industrial civilization in England in the 16th and 17th centuries and art.....	Susumu Nakamura
A Theory of Logistic Curve —To Explain the Transition of Japanese Economy after World War II—	Hirokuni Terada
Correspondence to 'Market Failure' Phenomena in a Local Public Transport	Takahiko Saito
Competition within the Railway Market in Kansai Metropolitan Area: Its Past, Present and Future.....	Yoshinori Takahashi
Cyclical Process and Hopf Bifurcation.....	Makoto Uchigami
Borrowing Interest Rates of SME: Empirical Study of Corporate Data.....	Yuichi Abiko
Transferpricing of Multinational Enterprises, Oligopoly and Arm's Length Price.....	Yoshiharu Imanishi
An Observation on Providing Disaster Prevention and Disaster-related Information to Residents with Foreign Citizenship.....	Hiromi Kataoka

On the Regional Disparities of the Allotments to Municipal Hospitals	Narimasa Kumagai
The Significance of the Theory of Traverse.....	Kazuhisa Taniguchi
Impulse Response of the Exchange Rate Volatility to a Foreign Exchange Intervention Shock.....	Takeshi Hoshikawa
Software Upgrades and Users' Choice.....	Reiko Murakami
A Negotiation Study of Public Reform and Conflict Management	Tetsuji Kazuya
Inquiry into Accounting History Thoughts.....	Ryoji Hayashi
On the Study of Nicklisch's assertions on the Business's Value, Asset and Capital.....	Kenji Makiura
Japan Networkers' Conference and the Formation of the Concept of NPO in Japan.....	Tadahiko Yoshida
Class Assignment Problem of Elementary Seminar for Maximum Satisfaction of Students.....	Takeshi Ohmura
Proposal for an education support system using template matching.....	Keiichi Tanaka
The Target and the Meaning of Slow-life Movement in Local Area —Focusing on the activities of Mie Slow-life Association—.....	Kotaro Ohara
Reconsideration about “secretary” from a historical and gender point of view.....	Hisayo Ookubo
Origins of Tea-drinking and the Distribution of Tea in the Han Dynasty	Misa Tanaka
A Study on the Relations between Language and the Meta-principle of Economy.....	Takayuki Ishii
Professor Kyozo Takechi's Career and List of His Publications	

執筆 者 紹 介 (掲 載 順)

- 浅 羽 良 昌……神戸夙川学院大学観光文化学部教授・
大阪府立大学名誉教授
- 宇 田 正……追手門学院大学名誉教授
- 老 川 慶 喜……立教大学経済学部教授
- 岡 田 知 弘……京都大学大学院経済学研究科教授
- 小 川 功……跡見学園女子大学マネジメント学部教授
- 川 島 孝……島根大学名誉教授
- 木 元 富 夫……九州産業大学経営学部教授
- 齊 藤 俊 彦……交通史研究会会員
- 西 藤 二 郎……京都学園大学経済学部教授
- 酒 井 一……三重大学名誉教授
- 櫻 谷 勝 美……三重大学人文学部教授
- 高 嶋 雅 明……四天王寺大学人文社会学部教授・
和歌山大学名誉教授
- 谷 内 正 往……近畿大学通信教育部非常勤講師
- 堀 田 暁 生……大阪市教育委員会事務局・大阪市史編纂所長
- 増 田 廣 實……交通史研究会会長
- 三 浦 忍……九州産業大学経済学部教授
- 美 馬 佑 造……元大阪商業大学総合経営学部教授
- 吉 村 利 男……三重県史編纂グループ専門員・三重
大学付属図書館研究開発室客員教授
- 胡桃沢 勘 司……近畿大学文芸学部教授
- 井 田 泰 人……近畿大学短期大学部准教授
- 中 村 進……近畿大学経済学部教授
- 寺 田 宏 洲……龍谷大学経済学部教授
- 斎 藤 峻 彦……近畿大学経営学部教授
- 高 橋 愛 典……近畿大学経営学部准教授
- 内 上 誠……近畿大学短期大学部教授
- 安孫子 勇 一……近畿大学経済学部教授
- 今 西 芳 治……近畿大学経済学部教授
- 片 岡 博 美……近畿大学経済学部講師
- 熊 谷 成 将……近畿大学経済学部准教授
- 谷 口 和 久……近畿大学経済学部教授
- 星 河 武 志……近畿大学経済学部講師
- 村 上 礼 子……近畿大学経済学部准教授
- 数 家 鉄 治……大阪商業大学総合経営学部教授
- 林 良 治……近畿大学経営学部教授
- 牧 浦 健 二……近畿大学経営学部教授
- 吉 田 忠 彦……近畿大学経営学部教授
- 大 村 雄 史……近畿大学経済学部教授
- 田 中 敬 一……近畿大学経済学部准教授
- 大 原 興 太 郎……三重大学名誉教授
- 大 窪 久 代……近畿大学経営学部教授
- 田 中 美 佐……近畿大学短期大学部准教授
- 石 井 隆 之……近畿大学経済学部教授

生駒経済論叢 第7巻第1号 (通巻第19号)

2009年7月25日印刷

2009年7月31日発行

編 集 近畿大学経済学会

発行人 今西芳治

発行所 東大阪市小若江3丁目4番1号

近畿大学経済学会

郵便番号 577-8502 電話番号 (06)6721-2332(代)

印刷所 近畿大学 管理部 用度課 (出版印刷課)